

事業所名		児童発達支援センター　鳥取市立若草学園				支援プログラム		作成日		2024 年		10 月		1 日			
法人（事業所）理念		・こどもの尊厳を守り、一人ひとりの発達に応じた療育をめざし、こどもの健やかな成長と将来、地域社会で自立した生活ができるようになる基礎作りをします。 ・保護者、地域から信頼され、愛される園をめざします。															
支援方針 （療育の目標）		＊元気な体と遊べる子＊ ・基本的生活習慣を育む　・からだを育む　・ことばを育む　・あそびを育む　・こころを育む															
営業時間		8 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり		なし		・公共施設をバス停にし、最寄りのバス停まで送迎する。	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 ・食事、睡眠、排泄、衣服の着脱、身の回りの清潔等の基本的生活習慣を形成し、健康状態の維持、改善に必要な生活リズムを身につけ、基本的技能を獲得出来るように支援する。 ・様々な遊びを通した学びが促進されるよう環境を整え、発達特性に配慮し、時間や空間をわかりやすく支援する															
	運動・感覚	・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図ったり、感覚（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚等）を十分に活用できたりするように遊び等を通して支援する。															
	認知・行動	・一人ひとりの特性を理解し、こだわりや偏食等に対する支援を行う。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるように支援する。															
	言語 コミュニケーション	・ことば、表情、身振りなどを用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な発信方法が身につけれるように支援する。 ・話された内容や意味理解がわかるように、具体的な物や写真、絵カードを用い支援する。 ・伝える側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握し、場や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開出来るように支援する。															
	人間関係 社会性	・信頼関係を築くことができるように、環境に対する安心感や信頼感、人に対する信頼感などを育めるように支援する。 ・遊びを通して人を模倣することで社会性や対人関係の芽生えを支援する。 ・一人遊びの状態から並行遊び、保育士の仲介で行う運動的な遊び、ルールを守って遊ぶ協同遊びなどを通して、互いの存在を認めあいながら仲間作りにつながるように支援する。															
家族支援・連携		・連絡ノートの活用・個別支援会議・家庭訪問・クラス懇談・受診同行 ・園便り、クラス便り、給食便り、食育便りなどの発行・療育参観・研修会 ・親子チャレンジデー実施・プール療育の実施・わかくさおもちゃ館実施						移行支援		・就学先の学校や転園先の保育園、幼稚園等との移行支援会議 ・フォローアップ会議							
地域支援・地域連携		・公開療育・地域支援研修会・施設支援、保育園との交流 ・関係機関との連携（児童相談所・保健所・鳥取療育園・保育園・幼稚園他）						職員の質の向上		・園内研修・園内公開療育・ケース研修・各種研修会への参加 ・ＯＴ指導、ＳＴ指導後のカンファレンス・保育園とのエリア研修							
主な行事等		・入園式・親子遠足・こどもの日の集い・七夕まつり・夏のお楽しみ会・運動会・芋ほり・生活発表会・クリスマス会・新年お楽しみ会・節分・お別れ会・卒園式 ・誕生会・避難訓練・防犯訓練・身体測定															